

2009年9月16日

東京大学大学院情報学環山内研究室
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ
株式会社 KDDI 研究所

**東京大学大学院情報学環山内研究室、博報堂DYメディアパートナーズ、KDDI 研究所と共同で
AR(拡張現実)技術を用いた実証実験「東京大学 AR キャンパスツアー」を実施**

東京大学大学院情報学環山内研究室は、株式会社博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所(東京都港区、所長:榊原廣)と、株式会社KDDI研究所(本社:埼玉県ふじみ野市 所長:秋葉重幸 以下KDDI研究所)と共同で、KDDI株式会社(本社:東京都千代田区 社長兼会長:小野寺正 以下KDDI)が開発中の実空間透視ケータイを使った実証実験「東京大学ARキャンパスツアー」を2009年9月25日より2日間実施いたします。

「東京大学ARキャンパスツアー」では、現実空間にデジタル情報を重ねあわせるAR(拡張現実)(1)技術の使用場面と行動の関係を明らかにすることを目的としており、大学、研究機関、広告会社が共同で実験することで、AR技術の広告領域への活用を検証していきます。

本実証実験では、KDDIと博報堂DYメディアパートナーズが共同で開発中の次世代ナビゲーション携帯アプリ「MAWARIPO」×実空間透視ケータイ(2)を利用。「東京大学ARキャンパスツアー」がインストールされた実験端末を持ってキャンパス内を自由に散策してもらい、インターフェースの操作性や、大学に対する好意度や理解度などの検証を行います。

「東京大学ARキャンパスツアー」は、利用者の位置情報を元に、周辺に存在するキャンパス内施設の情報を数十名の現役東大女子学生がナビゲーションする試験サービスです。

東京大学大学院情報学環山内研究室、博報堂DYメディアパートナーズ、KDDI研究所は、実証実験の結果も踏まえ、今後も次世代ナビゲーション携帯アプリ「MAWARIPO」×実空間透視ケータイを使った位置連動型情報サービスに関する様々な検証を行っていく予定です。

なお、本件についての記事掲載および取材の申請につきましては、博報堂DYメディアパートナーズ広報グループまでお願い申し上げます。

- (1)「AR(拡張現実とは)」とは
Augmented Reality(拡張現実)の略で、実世界上のリアルな人や物体に対して、コンピュータを用いて生成されたバーチャルな情報を付加提示する技術の総称。
- (2)「MAWARIPO」×実空間透視ケータイとは
KDDIと博報堂DYメディアパートナーズが共同で研究開発中の携帯電話端末専用アプリ。
自分が今いる場所の位置情報を元に、周辺に登録されている店舗などの情報が自動で番組編成される。

実験概要

名称： 東京大学 AR キャンパスツアー

日程： 2009年9月25、26日の2日間

調査方法：「東京大学 AR キャンパスツアー」がインストールされた専用実験端末(実空間透視ケータイ)を持ちキャンパス内を自由に散策。終了後、「東京大学 AR キャンパスツアー」使用後の感想、改良点、大学への好感度、理解度などについて簡単なインタビューを実施。

対象者： 20名程度(本郷キャンパスを初めて訪れる10代～30代男女)(調査協力者の20名は公募により抽出・決定済みです。)

イメージ図



東京大学 AR キャンパスツアー画面

キャンパス内施設の情報を現役東大生がナビゲーション

この件に関するお問い合わせ先

東京大学大学院情報学環 山内研究室

博報堂DYメディアパートナーズ 広報グループ

KDDI 研究所 営業企画G